

北部コミセン通信

グラウンドゴルフ

楽しみました

7月22日(月)に、北部コミセンで「グラウンドゴルフに親しむ会」が開催されました。昨年に引き続き2回目で、北部地区の老人クラブや北の湯の利用者など44名の方が参加し、笑顔と歓声があふれる会となりました。朝9時、44名が8グループに分かれスタート。コースは北部コミセンの前庭とゲートボール場とその周辺を使った8ホールで、芝の上でプレーする前庭のコースが好評でした。



賞品をかけた8ホールを3ラウンドしましたが、そこは「親しむ会」。初心者には各グループのリーダーが丁寧に手ほどきをしなから、和気あ

いあいとした雰囲気です。プレーを重ねるごとに参加者同士が打ち解けていきました。

しかし、ホールインワンが6本も飛び出すなど、和やかな中にも真剣なプレーも見られました。

途中霧雨が降り、終了間際には本降りとなりましたが、参加された方々は満足でした。成績上位者には賞品、全員に参加賞が贈られました。



◆成績(敬称略)

- 一位 66点 平澤勝男(いずみ菓子NT)
- 二位 67点 三浦康夫(菓子)
- 三位 67点 佐藤義栄(菓子)
- ブービー賞 角掛萬蔵(南一本木)



「夢」をテーマに

先月開催された、みのりホームの夕涼み会に合わせて一本木・柳沢両保育園と一本木小学校1・2年生が、「夢」をテーマに絵を描いてくれました。



当日は新作業所「多夢多夢」に展示されましたが、現在はコミセンのロビーに飾っています。ご覧ください。※22日(木)まで

◆今月の「滝沢村の文化財展」

村指定天然記念物

山神社のスキ・クリ・ベニヤヤ

姥屋敷地内にあり、スキ・クリとも樹齢や太さはそれほど珍しいものではありませんが、まっすぐに立った形の良さは、古くから開けた姥屋敷の人々の心の支えであり、地域のシンボルでした。

また、ベニヤヤは樹齢300年、目通周囲3.91m、樹高25mあり、これほどの大木は貴重だと言われています。カエデ科のベニヤヤは、材が堅く強靱で家具や楽器などに使われます。春の芽出しが赤いことからこの名がつけました。



北コミ日記

〇月〇日 晴れ

このところ北部コミセンの周りは賑やかだ。ひとつはコミセンの裏手から聞こえてくる巨大チェーンソー・ハーベスターのうなるような重機の轟音と、手持ちチェーンソーの甲高い音である。

9月23日(月・秋分の日)に、北部コミセンを会場に「第6回いわての森林の感謝祭」が開催される。県や村などが主催する、桜の植栽やアトラクションなどが行われる大掛かりなイベントだ。

それに合わせて、コミセンから一本木小学校に下りる道の両側を桜並木にする計画なのだ。そのためにいままでうっそうとしていた道路脇の松や杉の伐採作業が進んでいる。



ハーベスターは松の根元をがっちり掴んで、あつという間に切断し、作業の邪魔にならないところに放り投げてしまう。すごい。コミセンの敷地内も桜を植樹するために、松がきれいに伐採された。細く背が高い



松で倒木の危険があったので安心である。もう一つは、桜並木になる道路の舗装工事だ。だいぶ路面が傷んでいたの、古い舗装をはがして舗装をし直すという。

機が投入され、自走しながら腹のあたりで舗装をはがし、前方に伸びたベルトコンベアでダンプに流し込んでいく。何台ものダンプが待機し、次々と重機の前に配置され荷台はあつという間に一杯になっていくのだ。道路切削機ロードカッターというらしい。す、すごい。...

そしてやっぱり夏。コミセンの周りもうるさいくらいの蝉の大合唱だ。

そんな中、花壇を見回っていた所長が、羽化の真っ最中の蝉を見つけた。何年も花壇の土の中で過ごし、今まさに成虫になった瞬間だ。

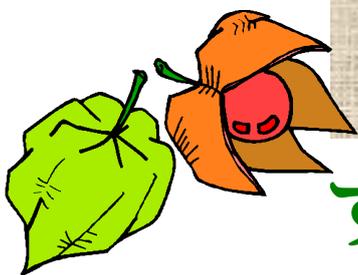
この時ばかりは重機の轟音も耳に入らず、自然の神秘に見入ってしまった。(塩田)



24節気 72候 立秋 寒蝉鳴く ひぐらしなく

カナカナ……と、ひぐらしが鳴くころ。夕暮れに響く虫の声は、はかない夏の夢のよう。

◇日本の七十二候を楽しむ(東邦出版)より



すっきりしましょ!

お盆期間も 北の湯、やっています

北の湯

毎週火・金曜日 午後1時~5時

無料 60歳以上の村民の方対象

※8月は6時まで延長。9月から5時まで。

北の湯開設日

★健康相談日

8月13日(火)	8月16日(金)
8月20日(火)	★8月23日(金)
8月27日(火)	★8月30日(金)
9月3日(火)	★9月6日(金)
9月10日(火)	★9月13日(金)